

「市岡小 いきいき活動 橋の模型づくり」・・・CVV 学童支援活動 開催される！

1. 日 時：2025 年 8 月 23 日（土）10 時 00 分～11 時 50 分
2. 場 所：大阪市立市岡小学校いきいき教室内
3. 参加者：児童 3 名（2 年 2 名、3 年 1 名）、教育財団：五十川先生 1 名、いきいき：本浪先生ほか計 3 名
4. CVV メンバー：7 名（祝、石原、下土居、鈴木威、一ノ瀬、黒山、鈴木巖）
5. 開催テーマ：児童一人ひとりがいろいろな橋の学びや模型づくりを通じて、橋の構造や仕組みを学ぶ
 - ①いろいろな橋の紹介、トラス橋の特長など（25 分）
 - ②割りばしを使った橋の模型づくりの説明（15 分）
 - ③トラス橋の模型づくり作業に挑戦（1 時間 10 分）
6. 活動を通じての感想など：
 - ・市岡小いきいき教室の本浪先生からいきいき活動開始の挨拶があった。
 - ・参加児童数が 3 名であったので、CVV メンバーは懇切丁寧に制作指導ができた。
 - ・大昔の丸木橋、昔の木橋や石橋、そして現在のトラス橋などの話に児童は興味深く聞いていた。
 - ・三角形と四角形、けた橋とトラス橋の簡易な実験では、児童は楽しく積極的に実験に参加していた。
 - ・参加児童が 3 名であったので、模型づくり制作には財団の先生やいきいき教室の先生も合わせて 3 名参加して一緒に楽しく活動した。
 - ・児童は、固定紙へののり付けやピンセットの扱い方などで手解きを受けながら頑張っていた。
 - ・完成したトラス橋にカラフルに色付けしていた。
 - ・いきいき活動の最後に責任者の本浪先生から、「児童の皆さん、トラス模型が見事に完成しました。よく頑張りました。」と気持ちを込めて仰ってました。
7. 活動の写真：



本浪先生のいきいき教室開始の挨拶



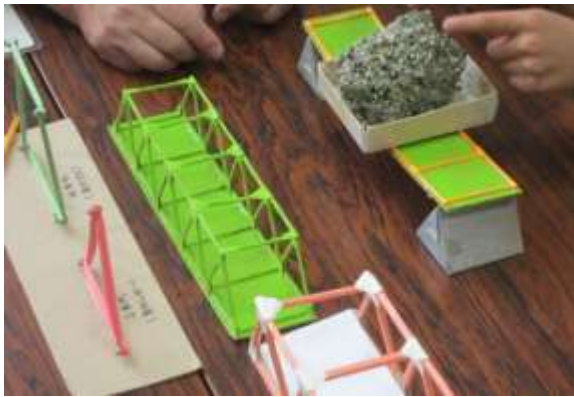
大昔や昔のはし(橋)が紹介された



三角形と四角形 横から力を加えるとどうなるかな？
簡易な模型で三角形と四角形との違いを実験



けた橋とトラス橋 どちらが重りに耐えられるかな？
けた橋とトラス橋の載荷実験



けた橋に重りが作用するとどうかな？



トラス橋に重りが作用するとどうかな？



トラス橋の模型づくりを説明する CVV メンバー



模型づくりの説明を一生懸命に聞く児童たち



片側のトラスを一生懸命につくる児童



片側のトラスを一生懸命につくる児童



片側のトラスを一生懸命につくる先生たち



完成したトラス橋模型に色付けを



児童と先生が作った模型のオンパレード